



▲ 10月22日、衆院選投票日の  
「選挙に行こう!」バルーンアクションにて

## 突然の解散・総選挙

### ——私たちの思いはどこに？

秋の国会で“仕事人内閣”スタートのはずが、一度も仕事することなく解散となり、突然の選挙戦で街中がにわかに騒がしくなったことは皆さんご承知の通りです。そして多摩市においては、市内を21区と23区の2つの選挙区に分断されて行う初めての選挙となりました。

この解散が森友・加計問題の疑惑隠しであることは明白で、内閣の解散権を乱用した全く大義なき暴挙です。私たち社民党は「安倍政権の暴走を止める」目的達成のため、野党間で候補者の調整を行い、21区に小糸けんすけ候補を擁立して闘いました。

台風が迫る悪天候下、結果は惜しくも破れましたが、21区と23区では幅広い市民と野党の連携が実現しました。民意が反映されにくい現行の選挙制度下においても、皆が力を合わせれば社会を変えることができます。共に頑張りましょう！

ご支援・ご協力、まことにありがとうございました！

多摩市議会議員 伊地智 恭子

## 9月議会

### 2016年度のまちの収支を審査 —— 決算特別委員会

大まかな決算内容は右記の通りです。財政の健全性は引き続き保たれているものの、歳入・歳出の両面で少子高齢化の影響が確実に見て取れるでしょう。具体的には労働人口の変化にともなう個人市民税の減少、民生費の増加などが挙げられます。

私は会派を代表して総括質疑と意見討論を行いました。

今回特に注目したのは、次頁以降で詳述しているマイナンバー関連費用の他、図書館運営費のところですが、市内7館のうち唐木田図書館だけが窓口業務を外部に委託しているため、その理由と実績について質問しました。

民間の活力や手法を学ぶ試験的な導入であり、その点で成果があったことは理解しますが、図書館行政全体としては統一性や連携に欠けるというデメリットもあります。本館再整備計画とバランスを取りながら、本当に市の財産となるきめ細やかであたたかい図書館運営を要望しました。



#### <2016年度一般会計決算（前年度比）>

■歳入・・・547億9,335万円（前年比13億1,247万円減▼）

市税	283億1,720万円 (0.9% 減▼)
国庫支出金	82億7,182万円 (0.1% 増▲)
都支出金	28億3,274万円 (0.2% 減▼)
地方交付税交付金	31億 240万円 (0.2% 増▲)
繰入金	19億9,800万円 (増減なし)
市債	17億 780万円 (0.2% 増▲)
その他	45億5,935万円 (0.2% 増▲)

■歳出・・・527億438万円（前年比18億1,885万円減▼）

民生費	251億9,436万円 (1.9% 増▲)
教育費	77億9,272万円 (0.6% 減▼)
総務費	77億4,493万円 (0.2% 減▼)
土木費	33億9,525万円 (1.0% 減▼)
衛生費	38億 400万円 (0.1% 増▲)
公債費	21億2,868万円 (0.1% 増▲)
消防費	18億4,674万円 (0.5% 増▲)
その他	7億9,770万円 (0.8% 減▼)